

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>■ブロック塀の撤去に対する補助について                      大阪府高槻市でブロック塀の事故があったため、熊本市が地域のブロック塀の調査を行うということだが、ネットで調べたら、他の市では、ブロック塀の撤去に対して半額くらいの補助を出すとか、植木を植えたら補助を出すとかいろんな補助があったが、熊本市では補助を考えているのか。</p>	<p>〔市長〕                      大阪府高槻市の事故があったので、学校と公共施設1500ヶ所をすぐに調査したところ、問題がでてきたところもあるため、早い段階で改善に着手するよう対応しているところ。これから、地域の担当職員や地域の皆さん、避難所担当職員と一緒に、それぞれの通学路を含めた安全点検を進めていく。                      全国の自治体ではブロック塀を解体したりフェンスに変えることに対して一部補助をしているところもある。今、他都市の状況を調べているところだが、まずは熊本市全域でかなりの数があるため、現状の把握をし、優先度の高いところなどを確認した後に、詳細な調査の必要があるところは予算を組んで、設計士や建築士事務所協会などいろいろなところに依頼してチェックできるよう制度をつくらうと考えている。                      それと同時に、他の自治体と同様に補助金についても何が最も効果的かを考え、皆さんに少しでも改善していただけるよう市議会とも相談しながら制度を考えていきたいと思っている。命にかかわることなので早くやりたいと思っている。                      制度が固まってきたらまちづくりセンター等を通じて皆様にもお知らせしたい。                      国にも行って要望をしてきたところだが、これは熊本だけの問題ではないため、子どもたちの安全のためにも国からの財政支援も含めて緊急要望をさせていただいている。</p> <p>-----</p> <p>【建築指導課】                      今後、専門家による現地調査を進め、所有者や管理者等に対し、撤去も含めた維持保全の指導を行っていく予定である。</p>	<p>都市建設局  都市建設局</p>	<p>建築指導課  建築政策課</p>

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>1. 生活関連道路、イノシシ対策、草刈のすることについて  「5年でみえる道作り」が平成24年から平成33年まで計画されているが、その中で生活関連道路をつくるというものがある。生活道路については、適切な維持管理を行うとともに、歩行者空間や自転車走行空間の確保、道路景観の形成と安全に努めるとあるが、この進捗状況について知りたい。</p> <p>また、豊田校区にはイノシシが随分いて、歩行者の安全確保ができていない状況である。イノシシによる事故が起きる前に対策を打ってほしい。</p> <p>歩道に草が覆い茂っているので歩道が歩道になっていない。これについてどういう対策を行っているのかを聞きたい。市は大きな事業の話がされるが、地元は身近なことに関心があるものなのでそういうことに目を向けてほしい。</p> <p>震災の後、市長と懇親会があり、そのときに草刈のことを言った。市長は自治会におろすべきだといわれたが、都市建設局はおろされなかった。私は今回、塚原古墳の草刈のボランティア委託を受けた。契約では年に3回の草刈を委託されたものだが、全部で11回草刈をする。そのうち8回は無料で行う。自治会に委託すればこのようなことができるのに、なぜ自治会にさせないのか。財政面のことをいうだけでは理由にならない。もう少し上層部には真剣に考えていただきたい。</p>	<p>〔西部土木センター所長〕  「5年でみえる道づくり」についてはパンフレットを熊本市のホームページに掲載している。その中で、生活関連道路の整備や道路施設の維持管理体制の強化、交通安全施設の整備、自転車の安全な走行空間の整備、無電柱化の整備などを進めている。</p> <p>例えば、橋梁の長寿命化計画があり、長くもたせるために橋梁の点検、補修をして、普通であれば維持管理をしなればすぐ壊れてしまいそうな橋梁をあと50年100年持たせようとする取り組みなどを順次計画をして行っている。また、交通安全整備を進める取り組みについては、通学路の点検等をして、必要な箇所について防護柵や区画柵の設置などを行っている。また、新たに水路にふたをかけて歩道を整備したりしている。自転車の安全な走行空間整備については、熊本中央区大江の県立劇場前や信愛女学院前などの自転車走行空間の整備を進めている。また、無電柱化については、浜線バイパス（国道266号線）の無電柱化を進めている。おおよそ10年の計画で平成29年度が中間見直しの年だったが、熊本地震が平成28年に起きたため、その影響で震災の復旧復興を優先するためにほとんどの事業がストップした。そこで、今年、中間見直しを本庁の道路整備課が主体となって行っていくということにしている。結果がでたら順次ホームページで公開していく。</p> <p>雑草については、年間で何回でも切れたらいいのだが、草を刈るのに有効な時期がいつかを定めて、維持管理計画を今作っているところ。一カ月おきなどにできたいいが、そこまでは予算的にも対応が難しい状況である。</p> <p>〔市長〕  草刈については、相当いろいろな話し合いをした。現実的には、地域でお願いできる部分についてはお願いしたいと思うので、ルール作りや安全性などいろいろ考えてやっていきたい。年間での管理状況を確認してみたが、伸びてくる時期に切っても意味がないということもある。ただ、一部危険になっているところについてはその部分だけでも早く改善をしていくことが大事だと思うため、指導していく。</p> <p>ボランティアで除草していただいていることに対してお礼を申し上げる。</p> <p>-----</p> <p>【農業支援課鳥獣対策室 追記】  豊田校区のイノシシ対策については、市が城南猟友会駆除隊に依頼して箱わな等による捕獲を行うとともに、農地へのイノシシの侵入防止柵の設置やエサ場をなくす取組を進めている。また、イノシシのすみかとなる耕作放棄地やヤブなどをなくす環境整備は有効なことから、今後も地域とともに連携しながら、鳥獣が生息しにくい環境を整備する等鳥獣対策を進めていく。</p>	<p>都市建設局</p> <p>都市建設局</p> <p>農水局</p>	<p>西部土木センター</p> <p>道路整備課</p> <p>農業支援課（鳥獣対策室）</p>

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
2	<p>2. くまもと元気くらぶの補助について 介護予防の目的でくまもと元気くらぶを進めていると思うが、その中で100歳体操を取り入れている。身につけるおもりは市内では売られていないため、市のほうでこれら備品を手配をされるのが妥当ではないか。市長および幹部職員はどう考えているか。 おもりが一つ4～5千円する。100円ショップで買えば108円だが品切れしている。市が元気くらぶをどの程度推進しようとしているか不明だが、必要な数を100円ショップに要望するなどしてほしいと思っている。無駄遣いするばかりだから頭にくる。100円ショップの会社の社長に会って、熊本市にはおもりがこれだけ必要だから全国から集めてもらいたいと相談することなどをしたかということを知りたい。補助がどうこうの話ではない。</p>	<p>〔南区長〕 くまもと元気くらぶでは3つの支援をしている。一つは活動支援補助ということで、物品補助と活動補助をさせていただいている。100歳体操でのおもりの購入も補助の対象となっているのでこの補助制度を活用いただきたい。</p> <p>〔市長〕 実際の現場の状況がわかると、既製品ではなくもっと安いもので代用できるというアイデアについて地元の方がお気づきなのに、市にもそういう努力や工夫をしてほしいということがご意見の本質だと思う。これについては健康福祉局と話をしたいと思う。100歳体操については効果があると思っているため、皆さんが参加しやすいようにしていくことが大事だと思う。アイデアを出しながら支援していきたい。</p> <p>-----</p> <p>【高齢介護福祉課 追記】 平成30年7月6日、担当課より市内の複数の100円ショップへ在庫状況及び入荷予定を確認したところ、市内の店舗に在庫があることや、今後も入荷予定があるとのことであったため、南区福祉課を通じて元気くらぶの設立に向けて取り組んでる校区社協長にもその旨連絡を行った。</p>	健康福祉局	高齢介護福祉課
	<p>3. コミュニティセンターの労災保険加入率について コミュニティセンターの職員の労災保険加入率はどのくらいあるか。恐らくコミュニティセンターの職員は労災保険に加入していないのではないかと知っている。そのことを幹部の方は把握されているか。</p>	<p>〔市長〕 コミュニティセンターの職員の労災保険の加入率については、後から回答させていただく。コミュニティセンターの運営についてはそれぞれの地域でお願いをしているので人件費など待遇の面もそれぞれ差があると思うので、市民局サイドに確認させていただきたいと思う。まずは、働く人が安心安全に働けるようきちんと考えていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【地域活動推進課 追記】 現在は労災保険の加入状況は把握していないが、今回のご意見を受け、収支決算書に労災保険記載欄を追加したので、今後状況把握に努めていくとともに、管理運営マニュアル改訂版で、制度の概要や基本的なルールを記載し、適正な運用についてお願いしていくこととしている。</p>	市民局	地域活動推進課
	<p>4. 側溝移設のことについて 市の道路が民間の宅地に侵食している。土地の所有者は、侵食している道路を動かして側溝を移設してくれと要望している。その側溝を直すのに約100万円かかる。買い上げてもらうと30万円程度で登記まで入れて50万円ほどで済むのではないかと知っているが、なかなか判断しかねている。市の幹部の方はどういう決裁を考えているか。</p>	<p>〔西部土木センター所長〕 この件は、家屋の新築に伴って境界立会いを行ったことで、道路側溝が民地に入っていることが判明し、地権者の方から側溝移設の話があったというもの。もともと平成2年に地元の阿高区から側溝移設工事の要望があり、平成3年と平成15年に側溝移設工事を実施した箇所である。 ここは以前から土水路として地域で活用されており、同じ場所に蓋つき側溝を整備した。この土地については、皆様が利用されている状態のまま今後も利用いただけるよう、今後も地元の地権者の方をお願いをして、寄附を前提としてご理解をいただきたいと考えている。</p>	都市建設局	西部土木センター城南地域整備室

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>1. 小学校の通学路の安全確保について                      隈庄小学校の通学路が非常に狭くて危険。中央線もない道路で、民地を側溝にして、その側溝の上を通学路として通っている。そこは側溝はあるがふたはないため転落するという話も聞いたことがある。先日も小学生が側溝の穴でつまづいて顔を打って鼻血が出たことがあった。                      今年4月から自主的に見守りをしているが、3人の方が怪我をした。わずか2ヶ月くらいの間にそういうことがあっている。7時25分からの20分間に、150人～200人が通るため行列ができる。そういうところにもし車がつっこんできたらものすごい大事故になると思う。                      前市長にもお願いしたが実現できなかった。私は見守りをしているが、夢に見るほどで、気が気ではない。一刻も早く舞原中央線を開通してもらいたい。問題を解決しようと思えばできないことはないと思う。わずか数メートルのことだが、子どもたちは毎日大変だと思う。もう何十年も前からの問題。ぜひ現場を見ていただき、早急な対応を考えていただきたい。</p>	<p>〔市長〕                      通学路が狭いという問題は本当に急がなければならないと、今お話を聞いてさらに思った。ボランティアで見守りをしていただいていることは大変ありがたい。土木センターすぐにやれるか。今、測量と建物調査には着手していると聞いているが。</p> <p>〔西部土木センター所長〕                      都市計画道路であるパイン通り線のこと。旧城南町で平成2年から事業開始をし、平成10年に都市計画決定をされた。その後用地交渉が難航し、途中で暫定整備で終わっていたところだが、合併を期に道路整備プログラムの中に入れ、再度事業を開始した。平成29年3月には都市計画の事業認可も取得している。用地交渉が難航している案件について、地権者のご理解とご協力をお願いして、肅々と事業を進めていきたい。                      ただ、通学路の安全点検ということで、暫定的、応急的に対応ができるか学校関係と一緒に地域整備室と協議をさせていただき、地元の皆様と安全協会など関係機関と連携し、何らかの対応ができるのであれば対応していきたい。</p>	都市建設局	西部土木センター 城南地域整備室
3	<p>2. 子ども達の遊び場の確保について                      火の君文化センターの駐車場はかなり広く、よほど大きな行事でない限り、ほとんど空いている。舞原さんさんは子供が多い。公園はいくつかあるが狭いので遊ぶことができない。そのため、駐車場をけずって遊び場をつくってもらいたい。</p>	<p>〔市長〕                      安全な遊び場所という意味では、火の君文化センターの駐車場を遊び場所にするには簡単にはできないかもしれない。実際、市内の公園はいろんな規制があり、子どもたちは自由に遊べないから公園に行かないと言っている。危険だからさせないということもあるのだろうが、公園の使い方も、時間によって変えていくとか、子ども達の下校から夕食までの間は子ども達がボール遊びをしてもいい時間にするなど、柔軟にやっていくことも考えなければいけないのではないかと考えているため、今後、子どもの遊び場確保についても検討していきたい。</p> <p>-----</p> <p>【城南まちづくりセンター 追記】                      火の君文化センターの駐車場は、センター及び隣接する城南図書館・児童館（当該施設駐車場満車時）の利用者の駐車場として活用している。                      現在、センター内公民館利用者が1日約120人、城南図書館・児童館利用者が1日約530人で、多くの方が自動車を利用されるとともに、両施設の駐車場へのエントランスも共有している状況である。                      加えて、火の君文化センターのホールは、熊本地震による復旧工事中で、供用開始ともなれば、更に多くの自動車（駐車場）利用者が見込まれることなど、子どもたちの安全・安心という観点から、駐車場の一部公園化は難しいものと考えている。                      （利用者数は29年度実績）</p>	都市建設局  南区役所	公園課  城南まちづくりセンター

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>1. 行政のあり方について 市長の説明の中で、まちづくりセンターを設置して、職員の配置を考えて、行政サービスや住民サービスを向上したいということがあった。城南まちづくりセンターのお二人には大変お世話になっている。縦割り行政では解決できない問題を串刺し行政でやっていくというのは、市長の考えだと思うが、改めてそこを確認したい。</p>	<p>【市長】 市民の皆さんがどこに相談に行くかと考えたときに、横串にさすということをコーディネートする役割がいると思う。そういうことをまちづくりセンターでやっていく。 また、私がいつも言っているのは、区役所の各区や各局で決定していくことをもっと情報共有しなさいということ。縦割りは効率的に進められるため、縦割りが悪いわけではなく、縦割りという意識が悪い。横と連携をして、隣の仕事も自分の仕事として引き受けるくらいの気持ちで、自分の専門ではなくとも、隣のプレーヤーにパスを回すという意識が大事。そういうことがだんだんできると、非常に円滑に進んでいくし、行政の無駄も改善されるものだと思う。ルールでできないのであれば、ルールをどのように変えようかなど、発想の転換をしていくようにしていきたい。</p>	市民局	地域政策課
4	<p>2. 防災無線について 隈庄城跡（通称：城の鼻公園）の西側のほうが、防災無線がまったく聞こえない。私たちは南区の防災マップを作り、防災訓練をしようとしても、こういう状況では住民の生命財産を守れない。危機管理の方にこれについて質問しても、未だかつて回答がない。住民の生命財産を守ることは健康保障である。自治会は、自治をやっているわけであるのに、なぜそれができないのか非常に疑問を感じている。</p>	<p>【市長】 防災無線のことは非常に問題があると思っている。防災無線が聞こえるようにして皆様の安全を守れるようにしていきたい。この件については区長や担当部署に確認する。</p> <p>-----</p> <p>【危機管理防災総室 追記】 熊本市の防災行政無線は、平成26年度から平成29年度にかけて合併旧町のシステム統合やデジタル方式への移行を目的とした更新を行い、更に高潮、津波被害の恐れのある沿岸部や市内土砂災害危険箇所等の未整備地域へ拡充した。なお、城南地区については、既存の屋外拡声子局54局の更新を行うと共に、これまで旧町時代に地域の一部へ貸与していた戸別受信機については、今回の整備方針のもと廃止させていただいている。 防災行政無線は、緊急時に、広範囲にわたる不特定多数の方に対し一斉に情報を伝えるための伝達手段として活用しているが、一般的に地形や気象の影響を受けやすい特徴があり、密閉性の高い住宅内では、音声が届き取りにくい場合もある。 そのため、本市では、緊急時における防災情報等が、市民の皆様に確実に届くように、防災行政無線での放送の他、近年普及率が高まっている携帯電話へ「エリアメール」や「熊本市災害情報メール」の配信、「緊急告知ラジオ」による放送、テレビのテロップをはじめとしたマスメディア、熊本市のホームページ等と多様な手段を用いて発信している。 本市の緊急時における情報伝達手段についてご理解いただき、これら複数の手段を活用した情報収集に努めていただくようお願いしたい。</p>	政策局	危機管理防災総室

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>3. 地域の活性化について</p> <p>僕は今年3回目となるふるさとまつりの代表をしているが、城南町のすべてのボランティア団体が入ってふるさとまつりをやってきた。これは特例区で行っていた火の君まつりを継承したもので、住民からも要望が強かったものである。</p> <p>合併特例区が終わってから、城南町は何もなくなっている、城南町は活性化できるのか、まちづくりって何なのという声をたくさん聞いた。私たちは皆さんに話しかけながら人を集めて組織をつくった。しかしながら、財政上どうしても行き詰ることがある。そういうときに商店街や企業などに協賛金をお願いできるかとやってきた。でもこれも限界がある。若者たちがまちを活性化しようと夏祭りを始めたが、まったく0から始めている。やはり商店や企業などに協賛金をお願いしている状況である。</p> <p>江津湖で花火大会があるが、市内中心部だけでなく、地域の人たちの活性化になるような財政措置を考えてほしい。</p> <p>南区の地域コミュニティ支援事業を1回だけ申請して上限30万円をもらった。これも1年きりだった。なぜ1年だけなのか。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>お祭りなど地域活動への財政支援については充実させていきたいと思っており、各区のいろんな事業に対して予算措置をしている。何もかも支援することは難しいと思うが、地域で大きなお金がなくても活用できるように、継続してできるように仕組みを変えつつある。</p> <p>〔南区長〕</p> <p>南区地域コミュニティづくり支援補助について、数回できないかということだが、この事業も今年度、非常に多くの団体から要望があり、その中から選別するというのは厳しい状況ではある。昨年度とは違った形でコミュニティの活性化ができるようにするなど中身の見直しを加えていただき、再度申請時期に手を上げていただけたらと思う。まちづくりセンターとも相談してほしい。</p> <p>〔市長〕</p> <p>役所なので一度制度を決めるとその条件で進めているものだが、おっしゃりたいのは、継続していくと地域活動につながっていくものに対しては継続して補助してもいいのではないかと話だろうと思う。そういうこともまちづくりセンターや区役所等ともよく考えて対応させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【南区役所総務企画課 追記】</p> <p>南区地域コミュニティづくり支援事業では、「祭りや運動会などのイベントのうち既に毎年恒例となっている事業」で内容も規模も前年どおり開催するものについては対象外としているところである。ただ、毎年継続とする事業でも創意工夫により内容を見直された場合は、少しでも内容をより充実させるなど、事業全体ではなく変更があった部分についてのみ、その部分を支援対象としているところ。今後、同事業と継続して次年度も提案される際には、前年とどのように違うのか、どのような点を新たに工夫したのか等を示して提案していただければと思う。</p>	<p>南区役所</p> <p>市民局</p>	<p>総務企画課</p> <p>地域活動推進課</p>
5	<p>■上水道工事の補助について</p> <p>上水道の配水管を引く場合には工事が必要になる。配水管からメーターまでの工事とメーターから屋内までの工事がある。お願いしたいのは、前者の配水管からメーターまでの工事に補助してもらえないかということ。</p> <p>聞くところによると、北区植木町では補助があるということだが本当に補助があるのかどうか。もし補助があるのなら、城南町も植木町と同じ時期に合併したので、公平に考えてもらえないだろうか。できれば、これから水道を引くところや、過去にさかのぼっても考えてほしい。配水管からメーターまでの区間で30万程度はかかる。地震でいろいろお金が要るため躊躇している人もいるかもしれないので要望する。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>被災をして物入りの状況の中ということもあると思うが、この件は上下水道局のほうから答える。</p> <p>〔上下水道局計画整備部長〕</p> <p>水道の配水管から自宅のメーターまでの補助ということだが、配水管から分岐するときは指定工事店で数社から見積もりをもらわれて、できるだけ安いところを選んでいただき接続をしていただくようにと対応させていただいているため、補助の検討はできかねる。また、旧植木町は合併前に受託工事制度というものを独自に取り入れておられ、「お客様に工事負担金を事前にお支払いいただいた上で本管工事の際にメーターまでの引込み工事を受託して行う」というものであり、合併当時の約束として特例で平成28年度まで行っていた制度である。</p>	上下水道局	計画調整課

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>1. 国道266号の渋滞について            著町（めどまち）から松橋までの県道。市長もご存知のとおり渋滞がひどい状況。城南橋と釈迦堂橋がかかったが、266号線が渋滞するため、市中心部に通勤する人が迂回され、そちらのほうも渋滞する。私は、橋を渡った先の道がバイパスなどになっていないから信号待ちで渋滞するのではないかと考えている。以前著町橋の上にもう一つ橋をかけるといった話があったが、最近はその話も聞かないので、その話がどうなっているか。著町橋の歩道を一時的にはずして、右折路線を長くすれば解消されるのではないかと考えている。</p> <p>また、浜線バイパスや北バイパスが開通しているが、市内の循環道路が開通すれば渋滞は少しは緩和すると思うので推進していただきたい。新幹線が通ったが、熊本には人がいないという状況がある。それは道路事情が良くないため阿蘇や天草などへのアクセスが悪いということがある。アクセスの改善についてどのように考えておられるか。</p>	<p>〔市長〕            著町橋の渋滞、特に朝夕の渋滞はどうにかならないかと私も思っているが、城南スマートインターができて全体の負荷は少しは減った。渋滞対策について土木センター所長から説明する。</p> <p>〔西部土木センター所長〕            著町橋付近の整備については、政令市前に田迎木原のバイパスが開通し、平成27年に県道の宇土甲佐線のバイパスが終わり、昨年城南スマートが開通した。著町橋の断面交通量調査をしたところ、城南スマートインターの利用が1日で約2300台で、著町橋の交通量は約5%減っている。地震により甲佐町の田口橋が現状では通行止めになっており、九州縦貫道にかかる府領第一橋も工事中であるため、この2橋が開通すれば分散化が図れるだろうと考えている。ネットワークを整備することで負荷を減らしていこうと考えている。</p> <p>熊本県が平成31年までの間として嘉島町で交差点改良工事をやっているため、県とも協議しながら渋滞解消に向けて相談しながら取り組んでいる。小川嘉島線については、右岸が嘉島町となるため、熊本県と本庁のほうで協議している。</p> <p>〔市長〕            右折レーンも含めて著町橋についてはかなり様々な対策をしないと解消できないと思うので検討させていただきたい。</p> <p>新幹線の駅前の賑わいの話もあったが、先週、国土交通省を回って各課長、局長、事務次官などに熊本の幹線道路の整備について要望してきた。熊本環状道路、西環状、北バイパス、東バイパス、それぞれ予算措置について国にお願いをしているところ。</p> <p>実は、北バイパスの整備が一部できてその先の3号線が渋滞するということがある。これは県議時代から指摘しており、そのあとの対策を考えないとだめだと県警やいろんなところに対して言ったことがある。今かなり渋滞箇所が多いが、これを解消するためには、国土交通省の全体の予算がつかないと熊本市までまわってこない。昨年は横ばいだったので、なんとか熊本は全体の予算としてはついてきたのだが、アクセスの対策は重要だと思っているため今後も頑張っていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【道路整備課 追記】            著町橋の歩道を外し右折など車線増設の対策には、構造的に課題があり対応は困難であると考えている。著町橋の渋滞対策については、城南スマートインターや県が実施している交差点改良等の効果を検証しながら、引き続き周辺を含めた対策の検討を進めていく。</p>	<p>都市建設局</p> <p>都市建設局</p>	<p>道路整備課</p> <p>西部土木センター</p>

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>2. 下水道工事の時期について                      下水道工事が震災復旧の工事のため遅れると聞いている。私は、平成30年度に完成と聞いていたが、遅れるということで、具体的にいつになるのかを知りたい。下水道と上水道が開通しないと工事ができないという人があるので予定を教えてください。</p>	<p>[上下水道局計画整備部長]                      上下水道がそろわないと一緒に工事ができないということだが、私どももできれば同時に整備できればいいが、現実的には下水道が遅れている。下水道は事業計画区域については順次整備を進めているが、正確な年度は申し上げられない状況である。下水道については工事費用が増大しており、当初の計画からかなり遅れている状況である。                      今年5月から地域説明会をさせていただいているが、下水道工事の事業計画区域に入っている地区については順次整備を行っていく予定だが、全体計画区域については非常に長くお待たせすることになるため、20年以上かかるというような説明をさせていただいている。それについては同じ地区でも町内がわかるため、誤解を招くところもあると思うが、全体事業計画区域の見直し案について現在提案させていただいているところである。</p>	上下水道局	計画調整課
	<p>3. 児童の安全対策について                      隈庄小学校の児童数がいっぱい新しい学校ができると聞いている。子ども達が増えれば地域も活性化するわけだが、地域の活性化のためには、小学校をつくるだけでなく、幼稚園や保育園などをつくるなどの対策をしないと人は増えないと思う。</p>	<p>[市長]                      熊本市は、私が就任した直後は、待機児童が397人で、東京都のレベルと変わらないくらいの数だった。また、希望する園以外の園には入らないとする保留児童も801人いた。                      そこで、待機児童については緊急対策をとり、平成28年度から平成30年度は待機児童はゼロであるが、地域によって差があるという話があったため、受け皿の確保と担い手の確保をする必要がある。                      今、保育士がいないという問題があるため、保育士の資格を持っている人が働きやすいよう、再就職支援コーディネーターを県と一緒に2名配置して取り組んでいる。子育て支援員の研修も行っており現在191人いる。保育資格や幼稚園免許取得を支援する事業もやっている。特に今後は、子供たちの保育の無償化を政府が進めるので、そこから新しいニーズも増えていくと思う。受け皿づくりと同時に担い手確保が非常に難しい問題なので、今後もしっかりやっていきたい。                      熊本市全体としては今年4月1日現在では待機児童数はゼロとなっており、3年連続待機児童ゼロを達成した政令指定都市は少ないと思う。しかしそれで満足してはいけない。いかにご家庭の状況に合わせて体制がとれているかが大事。実は3歳児以上では空きができてきている地域もあるが、0～2歳児のお子さんたちの分は足りないということがあるため、小規模保育などで対応している状況である。                      城南地区を含め、南区の状況も区長、健康福祉担当部局、保育幼稚園課などと連携して充実させていきたいと思う。</p>	健康福祉局  南区役所	保育幼稚園課  保健子ども課

「ドンドン語ろう！In城南」 平成30年7月5日 火の君文化センター 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	<p>■建築許可について 地震後、市長は被災者に対して寄り添っていきと言われていた。古い家がたくさん倒壊しているが、仕事を依頼されて、字図をとってみると、字図の中に接道がないことがある。測量士は手一杯で、司法書士も同じような状態。高齢者が多いため早く建ててあげたいと思い、とにかく建物の許可を先に出すようにできないかと建築指導課に交渉してみた。水路や接道の問題は、建物ができあがったときには完了検査を受けるから、そのときに書類ができあがっていればそれでいいのではないかと。そういう方法でしか早くできる方法はないと思っている。先に進める方法を提案しても法律で決まっているからと言われる。こういうときこそ連携をしていかなければならないと思うので、書類が早く進むようお願いしたい。</p>	<p>【市長】 建築指導課というのは指導課というくらいだからルールを守ることが彼らのミッションであるため、なかなかフレキシブルに対応できていないことはあると思う。建築許可を先にだして、他の状況を整えるということがどれくらいできるのか、一回持ち帰って考えさせていただきたい。 私は、2年3ヶ月災害対応をやっている中で、同じように国のいろんな制度にぶつかってきたが、国に要望してきたことで改善していることもたくさんある。通常の状態ではないのだから、通常のルールを適用しないでくれと言っている。住まいを確保しようとしているのでスピーディにしなければならないのに、決まりでできないと言われるが、災害のときなので特例を考えてほしいと国に要望している。そういう意味では、現場でもどうにかできないか考えているとは思うが、私のほうから確認をさせていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【建築指導課 追記】 本案件については、この意見交換後、水路監理者との協議が進み、これを受け建築物の再建に向けた具体的な手続きが進捗中である。</p> <p>【西部土木センター総務課 追記】 平成30年7月18日に要望者である建築関係業者が来課され、家の建替えて敷地内に字図上の水路があり建築確認のために払下げ相談があった。水路の払下げは必須であるため、最短となる7月の用途廃止審査会へ付議した結果、水路の排水機能確保のため付け替えることとなった。この内容を相手方に通知し、その後の手続きを急ぐようお願いしたものの、付け替えが終了次第、建築確認の手続きに移る予定。</p>	都市建設局	建築指導課  西部土木センター 総務課